

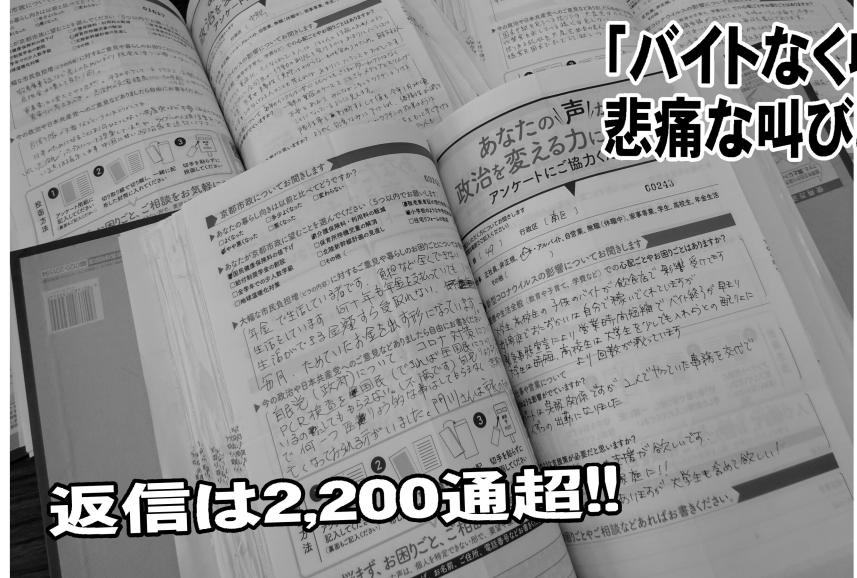
くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 京都市会議員 西野さち子です！

発行：2021年4月25日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)9117



市会議員団アンケートへのご協力ありがとうございました



返信は2,200通超!!

いただきました。他にも「タクシーでバイト。売り上げが激減し家賃が払えない。死を考える時がある」「お土産屋。1日の売り上げ600円。ストーブも使えず寒くても辛抱しています」等深刻な現状もリアルに届けられました。市政に対しては「財政難だから仕方がない」の一方で「コロナ便乗は許せない」「北陸新幹線問題を初めて知った。もっと知らせてほしい」「敬老乗車証で市のボランティア活動をして協力している。負担が増えればそれも無理になる」等の声に加えて、「介護保険を使わなかつた人に葬儀代の支給」「無料のPCR検査を」「路上生活者に市営住宅の空き部屋の活用を」等様々な提案も寄せられました。

共産党に対しては「政策は素晴らしいが、もっとアピール力を」「国民が一人の人間として扱われるまともな政治を実現してほしい」「京都でも沖縄のような野党共闘を」27歳の方からは「赤旗にも共産党にも入党にも興味がある。」等々まとめきれませんが、いただいた声を生かし、くらしの目線で政策提案を続けていきます。

さあ総選挙!!政権交代でコロナ禍から暮らしといのち守る政治を実現しよう!!



4月18日は、倉林明子参議院議員・たけやま彩子比例近畿ブロック予定候補を迎えて、伏見区全域6か所でまちかど演説会が行われました。

醍醐総合庁舎前では馬場こうへい府会議員の司会で行われ、倉林参議院議員は「コロナ禍の下で菅政権は病院を減らし、高齢者の医療費を2倍にしようとしています。絶対に許せません。野党共闘を広げ、政権交代をしましょう！そのためにも日本共産党を大きくして下さい！」と訴えました。たけやま予定候補も訴えました。

議員日誌

ミャンマーの国民・子どもを殺すな

4月11日、市役所前で「ミャンマーの人権を守る京都緊急集会」が開かれ、100人近くの市民が集まりました。徳丸夏歌立命館大学准教授が「ミャンマーの市民は、自由に声があげられない。何もしない市民にまで銃が向けられ、遊んでいた子どものいのちが奪われている。軍隊の行為を告発するSNSが遮断され、見えにくくなっています。日本政府はモノを言うべきではないか」とスピーチされました。穀田恵二衆議院議員は「一人ひとりの声でミャンマーの問題が国際問題・人権問題だとアピールしましょう。クーデターについて、草の根から取り組もうではありませんか」と訴えました。西野さち子市会議員も参加しました。

